

日本地質学会第121年学術大会（2014鹿児島大会）講演プログラム（ポスター）

■ 9月14日（日） コアタイム 13：00-14：20 ポスター会場（第2体育館）

R1 深成岩・火山岩とマグマプロセス

R1-P-1

飯豊山地における後期白亜紀～古第三紀深成岩類の岩石学的研究. **久保雅臣**・加々島慎一

R1-P-2

三重県熊野市井内浦掘削コアによる熊野酸性火成岩類 北岩体の物性値垂直変化. **松浦浩久**・金谷 弘・大熊茂雄・小泉尚嗣

R1-P-3

阿保花崗岩東部岩体の全岩化学組成とSr同位体組成. **小川ひとみ**・壺井基裕

R1-P-4

山口県東部, 領家帯・山陽帯花崗岩の岩体区分と火成活動. **山下修平**・小川敦司・大和田正明

R1-P-5

南インド西ダルワール剛塊チトラドゥルガ地域に産する花崗岩質岩石の岩石学的特徴. **福嵩秀明**・亀井淳志・Satish-Kumar M・豊島剛志・外田智千

R1-P-6

鹿児島県南部大隅花こう岩体に含まれるジルコン結晶形態について. **池田咲子**・能美洋介

R1-P-7

未研磨ジルコンを用いたLA-ICP-MS U-Pb年代測定法によるマグマ活動履歴の評価. **伊藤久敏**

R1-P-8

真崎花崗岩中の同時性苦鉄質岩の産状と化学組成. **柚原雅樹**・水田史也・西瑛莉子・清浦海里・寺本 慶

R1-P-9

東南極Lützow-Holm Complex, Rundvågshettaに産するminette岩脈のSr同位体組成. **宮本知治**・山下勝行・岡野 修・角替敏昭・Dunkley Daniel J.・加藤睦実

R1-P-10

オマーンオフィオライト北部のシート状岩脈群—上部斑れい岩境界部付近に分布する斑れい岩類と超苦鉄質ブロックの岩石学的特徴とその成因. **金子 龍**・足立佳子・宮下純夫

R1-P-11

オマーンオフィオライト北部・サラヒ岩体最南部地域のマントルセクションにおけるかんらん岩類の空間的組成変化と産状の対応関係. **藤井 悟**・高澤栄一

R1-P-12

オマーンオフィオライト・フォリエイテッド斑れい岩の成因～粒子解析からの考察～. **及川真宏**・足立佳子・野川 裕・宮下純夫

R1-P-13

北部オマーンオフィオライトのメタモルフィックソールにおける接触変成作用の特徴と含水溶融の可能性. **森菜美子**・高澤栄一・野原里華子・足立佳子・高橋俊郎・宮下純夫

R1-P-14

トランスカルパチア地域における黒曜石中の苦鉄質捕獲岩. **岡田祥光**・山田昌功・Sergeii Ryzhov・Vadim Stepanchuk

R1-P-15

阿武火山群, 七重火山の高Srマグマティズム. **角縁 進**・大津山顕司

R1-P-16

前期白亜紀関門層群安山岩類の岩石記載と化学組成. **山縣宏紀**・今岡照喜

R1-P-17

奄美大島におけるカンプトナイト岩脈のK-Ar年代. **藤井貴之**・今岡照喜・君波和雄・八木公史・板谷徹丸

R1-P-18

マグマ形成場の空間変化から読み解く形成直後の沈み込み帯の3次元構造—中新世西南日本を対象として—. **森里文哉**・小澤一仁

R2 岩石・鉱物・鉱床学一般

R2-P-2

岐阜県谷汲地域に産する美濃帯緑色岩の産状, 地球化学的性質及びその起源. **久保田将**・石渡 明

R2-P-3

超高温グラニュライト中のCa, Ti に乏しいザクロ石におけるTiの置換モデル. **川嵩智佑**・本吉洋一

R2-P-4

ジルコンのカソードルミネッセンスに及ぼすアニリングおよび放射線の影響. **土屋裕太**・西戸裕嗣・鹿山雅裕・能美洋介

R2-P-5

レーザ段階加熱による角閃石のアルゴン拡散と閉止温度. **兵藤博信**

R2-P-6

Use of Fluid Inclusions to infer Formation Conditions of Cerro Colorado Copper Deposit, Northern Chile. **TSANG Debbie Pui Wai**・TATTITCH Brian・WALLIS Simon

R2-P-7

秋吉台およびその周辺の白亜紀火成岩の特徴: 鉱化作用との関連. **佐々木由香**・今岡照喜・中島和夫・八木公史・板谷徹丸

R2-P-8

薩摩半島南部春日金鉱床産珪化岩の石英結晶方位. **山本啓司**・マティーン タツヤバ・ウル レーマン ハフィーズ

R4 変成岩とテクトニクス

R4-P-1

四国中央部三波川変成帯・汗見川流域低変成度部の温度構造の再検討. **梅田隼人**・榎並正樹・田口知樹

R4-P-2

浅部ウェッジマントル—スラブ間の相互作用の解明に向けて～高知県白髪山岩体を例に～. **河原弘和**・永冶方敬・森 宏・

Wallis Simon

R4-P-3

福岡県西部, 浮嶽周辺に産する白亜紀高度変成岩中に見出された変閃緑岩の産状と原岩形成場. **浦島遼平**・大和田正明

R4-P-4

四国地方および関東地方における始新統および中新統中の結晶片岩礫に含まれるジルコンのU-Pb年代測定. **飯塚亮太**・高木秀雄・岩野英樹・石田章純・佐野有司

R4-P-5

東南極リュツォ・ホルム岩体ルンドボークスヘッタにおける苦鉄質片麻岩の部分溶融過程. **加々島慎一**・内海理絵・川嵩智佑

R4-P-6

アンチグライト蛇紋岩化過程におけるAl, Crの挙動. **曾田祐介**・横山寛紀・森下知晃

R4-P-7

東南極セール・ロンダーネ山地, ブラットニーパネ地域におけるフォルステライト—スピネル岩の変成組織. **石川真帆**・志村俊昭・大和田正明・亀井淳志・東田和弘・柚原雅樹

R4-P-8

西南日本の蛇紋岩メランジェ中のヒスイ輝石岩に記録された塩水. **重野未来**・森 康・川本竜彦・西山忠男

R4-P-9

ポロシリオフィオライトの変斑れい岩類の温度圧力経路; 角閃石・緑泥石の形成プロセスからの検討. **田中真二**・宮下純夫

R4-P-10

Relationship between peak metamorphic condition and geological structure in the upper sequence of Hidaka Metamorphic Belt. **中村佳博**・豊島剛志・Madhusoodhan Satish-Kumar

R4-P-11 ★

ボヘミア山塊南部モルダニューブ帯Ktis産の泥質片麻岩に記録された流体の進化過程. **小林記之**・平島崇男・廣井美邦・スフォイッカ マルチン

R4-P-12

木曾地域領家変成帯泥質変成岩中の含ザクロ石岩脈 **猪川千晶**・本吉洋一・外田智千・堀江憲路

R4-P-13

東南極セール・ロンダーネ山地北部, ベストハウゲンに産するFe-Alに富むグラニュライトの変成組織. **馬場壮太郎**・小山内康人・中野伸彦・外田智千・足立達朗・豊島剛志

R4-P-14

チャノッカイトの鉱物平衡モデリングからみた先カンブリア時代の地殻進化. **角替敏昭**・Santosh M

R4-P-15

黒瀬川構造帯に分布する花崗岩類および変ハンレイ岩類の年代学的特徴. **小山内康人**・吉本紋・中野伸彦・足立達朗・北野一平・米村和紘・佐々木惇・土谷信高・石塚英男

※講演番号は, シンポジウム (S), トピックセッション (T), レギュラーセッション (R) のそれぞれに, ポスター (P) / 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています.

※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合, 講演要旨を正しいものとします.

※注意書きの説明: **太字氏名**: 代表発表者. **★印**: ハイライト (本誌 p.(11) を参照). (招待): 招待講演.

(招待: 国際): 国際交流による海外関係学協会からの招待講演.

日本地質学会第121年学術大会（2014鹿児島大会）講演プログラム（ポスター）

■9月14日（日） コアタイム13：00-14：20 ポスター会場（第2体育館）

R4-P-16

20万分の1地質図幅「大分」地域に分布する変成岩・深成岩のU-Pb及びK-Ar年代。宮崎一博・斎藤 眞・星住英夫・利光誠一・水野清秀・檀原 徹・岩野英樹・平田岳史

R4-P-17

三次元剛体回転シミュレーションによる形体定向配列の再現。松村太郎次郎・増田俊明

R4-P-18 ★

付加体深部における岩石-流体相互作用：九州東部上部白亜系四万付加体楨峰メランジュ。斎藤 翼・氏家恒太郎

R4-P-19

スリランカに産するarrestedチャーノクタイト形成に伴う局所的な元素拡散。山崎由貴子・池田 剛・本吉洋一・廣井美邦・Prame Bernard

R4-P-20

四国三波川変成帯猿田川地域における鉱物帯境界の温度構造変化。川口健太・廣瀬文洋・星野健一

R4-P-21

インド南西部太古代後期ダールワール岩体西部、チトラドゥルガ地域のペニンシュラ片麻岩体・花崗岩体・結晶片岩の変形作用。豊島剛志・Satish-Kumar M.・外田智千・片岡香子・亀井淳志

R4-P-22

ザクロ石の拡散帯構造から求めた東南極リュット・ホルム岩体の冷却速度。池田 剛

R4-P-23

四国中央部・御荷鉾-北部秩父帯の高圧型変成作用：三波川沈み込み帯温度構造への意味。遠藤俊祐

R4-P-24

超塩基性メランジにおける流体-岩石相互作用と浸透率変化：野母変成岩類に見られる例。森 康・重野未来・西山忠男

R12 石油・石炭地質学と有機地球化学

R12-P-1

アラビア湾南岸地域におけるアプチアン階石油起源岩の形成要因と海洋無酸素事変（OAE1a）との関連性。山本和幸・石橋正敏・高柳栄子・浅原良浩・佐藤時幸・西 弘嗣・井龍康文

R12-P-2 ★

流体包有物解析から得られた上越海盆地域の炭化水素徴候-基礎試錐「上越海丘」の掘削結果を踏まえて。柿崎 聡・大川直樹・山科起行・城戸麻千子・今堀誠一・佐藤大地・馬場 敬

R12-P-3

炭質物の石墨化における被熱時間スケールの制約。森 宏・森なつみ・Wallis Simon・Annen Catherine・Westaway Rob・Caricchi Luca・瀬藤佑衣・永治方敬

R12-P-4

インドネシア中部ジャワ州Gundihガス田における先導的CCS研究-岩石物性測定に基づく貯留性能評価。北村圭吾・千代延

俊・山田泰広・尾西恭亮・辻 健・Sapiie Benyamin・Bahar Alfian・Sule Rachmat・松岡俊文・Gunawan A. Kadir Wawan

R19 環境地質

R19-P-1

放射性物質の移動挙動評価に係る森林における長期モニタリング（その2）。阿部寛信・石井康雄・新里忠史・三田地勝昭・渡辺貴善・佐々木祥人

R19-P-2

福島第一原発事故により関東地方へ降下した放射性物質の土壌内挙動に関する検討-その2-。田中 新・宗田和希・香村一夫

R19-P-3

山形県立小国高等学校第一学年「地域文化学」での自然科学教育・防災教育の取り組み。川辺孝幸・土井里子・高橋 史

R19-P-4

松本市の表層地盤と「揺れやすさマップ」。小坂共栄・津金達郎・富樫 均・古本吉倫・信州大学震動調査グループ

R19-P-5

富山県射水市放生津湯における底生有孔虫を用いた津波堆積物の検出。矢野さおり・竹内 章

R19-P-6

鹿児島県奄美群島における津波堆積物調査（予報）。井村隆介・後藤和彦・岩本健吾・林由佳里・緒方康弘・原田研一

R19-P-7

大阪府レッドリスト地形・地質版作成の意義と問題点。中条武司・三田村宗樹・奥平敬元・菅森義晃

R19-P-8

土砂資料の法科学的異同識別のための画像解析による粒度分析法の検討。杉田律子

R19-P-9

不適正処分された産業廃棄物最終処分場での地下水汚染対策の考え方（旧民間産業廃棄物安定型最終処分場の例）。和田卓也・川端祥浩・林 正樹・中村豊久

R19-P-10

廃棄物埋立跡地における地下水流動。荻津 達・吉田 剛・亀山 瞬・田村嘉之

R19-P-11

千葉県習志野市東部の地質と地下水流動。吉田 剛・風岡 修

R21 地学教育・地学史

R21-P-1

改訂版 プラスチック水槽を使った褶曲モデル実験。川端清司

R21-P-2

博物館所蔵ボーリングコアを用いた学校向け貸し出し教材の開発による地学教育支援。石井陽子

R21-P-3

博学連携による学校の石材を活用した岩石学習の授業実践。大

木淳一・佐久間亮成

R21-P-4

能力のある高校生に対して行う宇宙地球科学セミナーの実践報告Ⅱ。川村教一・林 信太郎・上田晴彦・本谷 研

R21-P-5

環境放射線を用いた大学初年次教育。富山慎二・加藤ともみ・坂田 健・田中 剛

R6 ジオパーク

コアタイム13：00-14：20

会場：第1会場（111）外通路

R6-P-1

ジオサイト「館ヶ崎角岩岩脈」の追跡調査。橋本智雄・伊藤太久・磯前沙也加・永広昌之・関 博充・佐藤悦郎・白土 豊

R6-P-2

山陰海岸ジオパークにおける磯（海岸域）の地形地質と生物多様性。森野善広・田村友紀夫・北村格一

R6-P-3

地質情報を利用した地域振興 -茨城県北ジオパークの学術的サポートと産官学金民連携-。小沼早織・郡山鈴夏・松久祐子・福永智恵・林 美咲・今泉利架・遠藤史隆・北原遼太・杉野伊吹・山本啓介・前田知行・澤畑優理恵・細井 淳・天野一男

R6-P-4

ジオパーク構想に向けた素材としてのWeb版新岐阜県地質図「ジオランドぎふ」の開発。棚瀬充史・小井土由光・大庭哲哉・加納 隆・小嶋 智・笹尾英嗣・鹿野勘次・木澤慶和

R6-P-5

関東大震災の空撮と東海道線（東京-横浜）。蟹江康光・布施憲太郎・蟹江由紀

※講演番号は、シンポジウム（S）、トピックセッション（T）、レギュラーセッション（R）のそれぞれに、ポスター（P）/口頭（O）の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。

※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。

※注意書きの説明：太字氏名：代表発表者。★印：ハイライト（本誌 p.(11) を参照）。（招待）：招待講演。（招待：国際）：国際交流による海外関係学協会からの招待講演。